



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシー株式会社

コード番号 6298 URL http://www.yac.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺本 和政 TEL 042-546-1161

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,711	64.2	50	△76.8	△152	ー	△185	ー
28年3月期第1四半期	4,695	147.1	217	ー	220	ー	106	ー

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △266百万円 (ー%) 28年3月期第1四半期 164百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△20.82	ー
28年3月期第1四半期	11.95	11.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	35,981	13,131	35.8
28年3月期	34,760	13,498	38.1

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 12,880百万円 28年3月期 13,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	10.00	ー	10.00	20.00
29年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
29年3月期(予想)	ー	10.00	ー	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	17.1	400	△13.3	350	△24.4	230	△2.8	25.76
通期	30,000	17.4	1,500	85.7	1,350	147.0	890	ー	99.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、「添付資料」3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期1Q	9,674,587株	28年3月期	9,674,587株
29年3月期1Q	745,801株	28年3月期	745,801株
29年3月期1Q	8,928,786株	28年3月期1Q	8,919,190株

※ 四半期レビューの実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、雇用回復を背景に緩やかな景気拡大が見られた米国並びに、量的緩和の継続を背景に緩やかな拡大を続けた欧州に支えられ、総じて回復基調で推移していた中、大方の予想に反して英国国民投票でEU離脱派が勝利したことに端を発して、世界経済の下振れ懸念が広がりました。

日本経済においては、マイナス金利の維持や消費増税の延期など、政府・日銀による経済政策を背景に緩やかな回復基調にありましたが、英国国民投票の結果を受け円高・株安が急激に進むなど、先行き不透明な状況となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、刻々と変化する顧客ニーズを捉えた装置の開発と市場化に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高77億11百万円（前年同四半期比64.2%増）、営業利益50百万円（同76.8%減）、経常損失1億52百万円（前年同四半期は経常利益2億20百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億85百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億6百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(ディスプレイ関連事業)

スマートフォンやタブレット端末向けの装置が好調に推移し、売上高は大幅に伸びましたが、アニール装置において利益が減少しました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は43億40百万円（前年同四半期比38.0%増）となり、セグメント利益は82百万円（同79.1%減）となりました。

(メカトロニクス関連事業)

前連結会計年度下期より連結対象となったワイエイシイガーター株式会社が当連結会計年度においては第1四半期から業績に寄与しているほか、レーザ微細孔加工装置の売上を計上する等、業績は順調に推移しました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は30億37百万円（前年同四半期比136.9%増）となり、セグメント利益は1億3百万円（前年同四半期はセグメント損失1百万円）となりました。

(クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連装置分野においては、顧客需要を確実に取り込み、業績は堅調に推移しました。

これらの結果、クリーニング関連その他事業の売上高は3億32百万円（前年同四半期比24.1%増）、セグメント利益は55百万円（前年同四半期はセグメント損失26百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は282億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億42百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金14億96百万円、受取手形及び売掛金13億67百万円であり、主な減少要因は仕掛品8億31百万円であります。固定資産は77億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億21百万円減少しました。主な減少要因は投資有価証券91百万円であります。その結果、総資産は359億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億21百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は162億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億38百万円増加しました。主な増加要因は短期借入金21億9百万円であります。固定負債は66億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億50百万円減少しました。主な減少要因は長期借入金2億66百万円であります。その結果、負債は228億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億87百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産は131億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億66百万円減少しました。その結果、自己資本比率は35.8%（前連結会計年度末は38.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想（通期）につきましては、平成28年5月16日に公表いたしました通期連結業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額ははありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度におきまして、主に当社の売上増大に伴って期末売掛金残高が増加したため、重要なマイナスの営業キャッシュ・フローが生じ、この結果3期連続で営業キャッシュ・フローがマイナスとなりました。また、当社は前事業年度におきまして、重要な営業損失、経常損失及び当期純損失を計上し、2期連続で営業損失となりました。このような状況により、継続企業の前提に重要な疑義が生じさせるような状況が存在しておりました。当第1四半期連結累計期間においても経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上していることから、引き続き、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

しかしながら、前期末売掛金につきましては前期末日後概ね半年以内には回収が見込まれ、受注残高（前連結会計年度150億73百万円）についても確実な売上資金回収を見込んでおります。また、平成28年4月に立ち上げた高収益体質強化プロジェクトにおいて、営業利益を確保した上で更なる収益力の強化を図る活動に取り組んでおります。

これに加え、メイン銀行を中心とした取引金融機関よりの金融支援体制も十分であり、今後はグループ各社の資金を効率的に活用することも検討しております。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,397,972	6,894,188
受取手形及び売掛金	12,342,531	13,709,769
有価証券	84,431	39,908
商品及び製品	278,827	461,683
仕掛品	6,621,669	5,790,577
原材料及び貯蔵品	921,680	856,471
繰延税金資産	314,518	337,150
その他	935,652	249,408
貸倒引当金	△115,906	△115,071
流動資産合計	26,781,377	28,224,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,298,197	3,298,884
減価償却累計額	△2,501,499	△2,515,825
建物及び構築物（純額）	796,697	783,058
機械装置及び運搬具	2,054,866	1,956,774
減価償却累計額	△1,560,015	△1,500,344
機械装置及び運搬具（純額）	494,850	456,430
工具、器具及び備品	3,144,482	3,129,921
減価償却累計額	△2,671,446	△2,693,722
工具、器具及び備品（純額）	473,035	436,199
土地	3,034,422	3,034,422
リース資産	131,643	108,054
減価償却累計額	△82,081	△58,369
リース資産（純額）	49,562	49,685
建設仮勘定	494,452	500,840
有形固定資産合計	5,343,021	5,260,635
無形固定資産		
のれん	831,166	795,241
ソフトウェア	62,397	58,725
リース資産	19,590	17,613
電話加入権	19,603	19,603
特許実施権	108,000	99,000
その他	9,147	8,571
無形固定資産合計	1,049,905	998,755
投資その他の資産		
投資有価証券	1,111,116	1,019,299
長期貸付金	153,446	152,702
繰延税金資産	221,900	224,732
長期滞留債権等	78,873	124,908
その他	283,164	283,723
貸倒引当金	△262,205	△307,002
投資その他の資産合計	1,586,295	1,498,363
固定資産合計	7,979,223	7,757,755
資産合計	34,760,600	35,981,842

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,069,728	7,023,442
短期借入金	5,246,947	7,356,494
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
リース債務	24,092	24,806
未払法人税等	425,343	46,658
賞与引当金	261,696	200,054
製品保証引当金	215,322	204,018
未払費用	400,597	457,662
前受金	118,813	199,536
その他	306,113	394,027
流動負債合計	14,368,655	16,206,700
固定負債		
社債	700,000	700,000
長期借入金	4,856,093	4,589,636
長期未払金	61,853	61,726
リース債務	47,761	45,329
繰延税金負債	71,431	72,746
役員退職慰労引当金	63,853	65,984
退職給付に係る負債	1,015,493	1,032,653
資産除去債務	48,718	46,974
その他	28,442	28,442
固定負債合計	6,893,648	6,643,493
負債合計	21,262,303	22,850,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,756,680
資本剰余金	3,582,276	3,582,276
利益剰余金	7,685,048	7,409,882
自己株式	△638,014	△638,014
株主資本合計	13,385,991	13,110,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,356	30,444
為替換算調整勘定	△163,669	△251,230
退職給付に係る調整累計額	△9,408	△9,272
その他の包括利益累計額合計	△145,720	△230,058
新株予約権	31,042	34,203
非支配株主持分	226,983	216,678
純資産合計	13,498,296	13,131,648
負債純資産合計	34,760,600	35,981,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,695,963	7,711,532
売上原価	3,562,150	6,565,391
売上総利益	1,133,812	1,146,140
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	362,781	381,798
賞与引当金繰入額	32,780	49,490
福利厚生費	19,054	17,723
賃借料	31,061	33,330
業務委託費	25,303	20,997
研究開発費	59,874	100,097
減価償却費	56,563	57,050
その他	329,385	435,268
販売費及び一般管理費合計	916,805	1,095,757
営業利益	217,007	50,383
営業外収益		
受取利息	1,509	4,097
受取配当金	1,208	3,988
為替差益	21,326	—
受取賃貸料	3,040	2,945
その他	1,462	5,929
営業外収益合計	28,548	16,960
営業外費用		
支払利息	8,818	16,717
為替差損	—	191,552
持分法による投資損失	13,706	—
その他	2,229	11,881
営業外費用合計	24,754	220,150
経常利益又は経常損失(△)	220,801	△152,806
特別利益		
固定資産売却益	—	1,374
特別利益合計	—	1,374
特別損失		
固定資産除売却損	1	1,061
投資有価証券評価損	—	5,131
特別損失合計	1	6,192
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	220,800	△157,624
法人税、住民税及び事業税	227,878	49,262
法人税等調整額	△143,358	△24,408
法人税等合計	84,519	24,854
四半期純利益又は四半期純損失(△)	136,280	△182,478
非支配株主に帰属する四半期純利益	29,667	3,399
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	106,612	△185,878

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	136,280	△182,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,546	2,923
為替換算調整勘定	20,055	△87,561
退職給付に係る調整額	50	135
その他の包括利益合計	28,653	△84,502
四半期包括利益	164,933	△266,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,804	△270,216
非支配株主に係る四半期包括利益	30,129	3,235

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 関連事業	メカトロニクス 関連事業	クリーニング その他関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	3,145,516	1,282,400	268,046	4,695,963	—	4,695,963
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,145,516	1,282,400	268,046	4,695,963	—	4,695,963
セグメント利益 又は損失(△)	393,190	△1,444	△26,577	365,167	△148,160	217,007

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△148,160千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 関連事業	メカトロニクス 関連事業	クリーニング その他関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	4,340,991	3,037,890	332,650	7,711,532	—	7,711,532
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,340,991	3,037,890	332,650	7,711,532	—	7,711,532
セグメント利益 又は損失 (△)	82,252	103,798	55,636	241,688	△191,304	50,383

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△191,304千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。